

ILCフランスの新しい挑戦

ILCアライアンス(連合体)加盟の各国では、アライアンスでの共同事業と同様に、その国独自の活動にも力を注いでいる。このたびILCフランスから、そのお国柄にふさわしい新事業が紹介された。

■ 化粧品会社と提携

ILCフランスは、世界的にも著名な化粧品会社ヘレナ ルビンスタイン社(HR社)と提携し、同社の「LIVE BRILLIANTLY——輝いて生きる」をブランド理念とした新事業展開への、積極的な協力を行っている。

HR社の創業者マダム・ヘレナ・ルビンスタインは19世紀末の事業開始時から、女性は年齢を重ねるに従って、心身の健康を含めたトータルな美しさが求められることになる、と訴えてきたという。100年後マダムの予言は的中し、フランスでも女性の平均寿命が80歳を超えた現在、多くの女性は長くなった自分の人生をいかに健康で美しく、そしてポジティブに過ごすかを真剣に考えるようになった。若さを追い求めるだけでなく、成熟した女性のための新しい「美の哲学」が、求められるようになってきている。

そのような時代背景の中、HR社は美容だけではなく全人格的な美しさへの挑戦を目指す新しいミューズとして、ハリウッド女優デミ・ムーアを迎えた。またILCフランスとの提携を通じ女性が生涯を通じて、いかに輝いて生きるか(LIVE BRILLIANTLY)をこれからの重要なテーマとして、中高年女性

をターゲットとする新たな戦略を、積極的に打ち出したのである。

ILCフランスとHR社の具体的な提携・協力態勢にはさまざまなレベルがある。ILCフランスを支える内分泌科、婦人科、皮膚科、栄養学などの専門家である科学者や医師などのネットワークが、具体的な製品開発への協力を行うことから、ILCが持つさまざまな長寿社会の情報を、HR社を通じてそのユーザーである多くの女性に届けることなども含まれている。

ILCフランス理事長である精神科医のフランソワーズ・フォレット博士は、高齢になっても社会とかかわりを持ち、自分の価値を実感するためにも「自分自身のイメージ」を大事にし、心身ともにトータルで美しく健康であることの重要性に気づくことが大切である、と語る。

■ 新しい女性美の創造と定着に向けて

ILCフランスは1996年の設立当初から、さまざまなジャンルの相手とのコラボレーションを重ねてきている。例えば日本の文部科学省にあたる役所との共同事業として、子ども向けの本や雑誌における高齢者の描かれ方に注目し、すぐれたものを表彰しマスコミに発表することを通じて、高齢世代のイメージをよりよいものにすることに貢献してきた。

このたびのコラボレーションは、美の国にふさわしい方法で、長寿社会における新しい女性美の概念の創造と、その普及に一役買っているといえよう。



HR社の今年度パンフレットには、輝きながら年を重ねると題して、老年学・老年医学という新たな分野への参加のため、ILCとパートナーシップを結んだことが紹介されている